

奈良さくら Cotton 事業の課題

奈良さくら Cotton ブランドを継続し、更に成長させていくためには、その価値が伝わるブランドイメージへ変革していく必要があります。自然素材にこだわる人が増え、自分の嗜好にあった良いものを求め生活の質を高めたいと考える層は増えています。これらの人たちをターゲットに、現在の奈良さくら Cotton を「自ら育てている綿の良さ」と「ナチュラルなイメージを高めたモダンなデザインからなる心地よい服」を提案するブランドに成長させたいと考えました。

この変革を実現するには何が必要で、どのように進めていくかの方針を立てなくてはなりません。そこで株式会社 Y 三宅喜之デザイナーとアトリエ M/A 小出真人デザイナーをアドバイザーとして、その具体化方法の検討を行ってきました。下記がそのポイントであり、各内容が今後実践していく指針となります。

ポイントと進め方

全体	・ブランド	社会貢献活動（地域活性化・教育など）の活動と、高価値製品の企画製造販売活動のイメージの明確な切り分けと、相乗効果を生む方法の計画
	・カテゴリ	心地よさ、肌への優しさで訴求しやすく、トレンドに左右されないカテゴリへの集中 ルームウェア、インナー、ワンマイルウェアを中心にしたブランドへ
製品	・素材	既存製品と変わらない印象の現在の生地から、ナチュラル感を高めた生地へ。
	・デザイン	リラックスでき、落ち着きを感じさせながら洗練されたイメージに。
	・周辺物	高い価値が伝わりやすいブランドネームの開発 高い価値が伝わりやすいタグ、下げ札、パッケージ、リーフレットの開発
	・価格	現在のこだわりの綿栽培の方法を維持できる製品価格の設定
販路	・卸販売	今までの百貨店催事に加え、百貨店、ライフスタイルショップでの常設販売を目指した販路拡大
	・直接販売	価値を自分たちで訴求しやすい自社ネット販売の強化
プロモーション	・社会貢献活動をメインにした「奈良さくら Cotton」の地域一体となったブランディングの継続と、製品ブランド「ひときわ NARA SAKURA COTTON」の厳選されたイメージでのブランディングの立ち上げ。	
	・ホームページやカタログで、切り分けながらも双方を理解できる仕組みを構築する。	

具体的検討内容（1 部）

製品ブランド
「ひときわ NARA SAKURA COTTON」ロゴ

製品試作品と
下げ札イメージ



2 ブランドのイメージカラー

奈良さくら Cotton

ひときわ
NARA SAKURA COTTON

相乗効果
∞

背景を文章で語る

心地よさを写真で魅せる

